

## 助成事業実施報告書

団体名.....特定非営利活動法人 ZUTTO

代表者・役職名 氏名.....理事長 津田優子

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

子どもダンス教室

### 2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

ぐーてん子ども食堂に参加している子どもを対象に、庄内公民館で週1回1時間のダンス教室を開催しました。外部の講師が、子どもたちの好きなヒップホップを教えました。参加した子どもの多くは、家や学校で様々な課題を抱えています。(子どもの抱える課題の具体的な内容については、公開には適さないのので、省略させていただきます。)

### 3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

「結果」4月から9月まで、計17回開催し、延べ76人の子どもが参加しました。参加した子どもは、未就学児、小学生、中学生です。  
「成果」子どもたちが、身体を動かし、楽しい時間を過ごすことができました。夜に徘徊する子どもたちにとっては、夜に来ることのできる安全で安心な場所となりました。また、様々な理由から、習い事をしていない子どもたちの習い事となりました。  
「社会的な変化」家や学校で課題を抱える子どもたちにとって、ダンスをすることによって、自己を表現し、自尊感情を高める機会となりました。

### 4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

2021年3月から毎週教えていたダンス講師の都合がつかなくなり、6月から別の講師にお願いしましたが、その講師も9月で都合がつかなくなりました。講師の知り合いに声をかけてもらったり、近隣のダンススタジオに講師派遣を依頼したりしましたが、ダンス教室は子どもに人気があり、講師が不足しているとのことで、新たな講師を見つけることができませんでした。課題を抱えた子どもを教える講師は、ダンスを踊れる人であれば誰でもいいわけではなく、精神的に不安定なこともある子どもたちに対応するためのスキルや経験が必要なので、適任者を見つけることが難しかったです。ダンス講師の適任者がみつき次第、ダンス教室を再開したいと考えています。

### 5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

